

# 国際野外の表現展

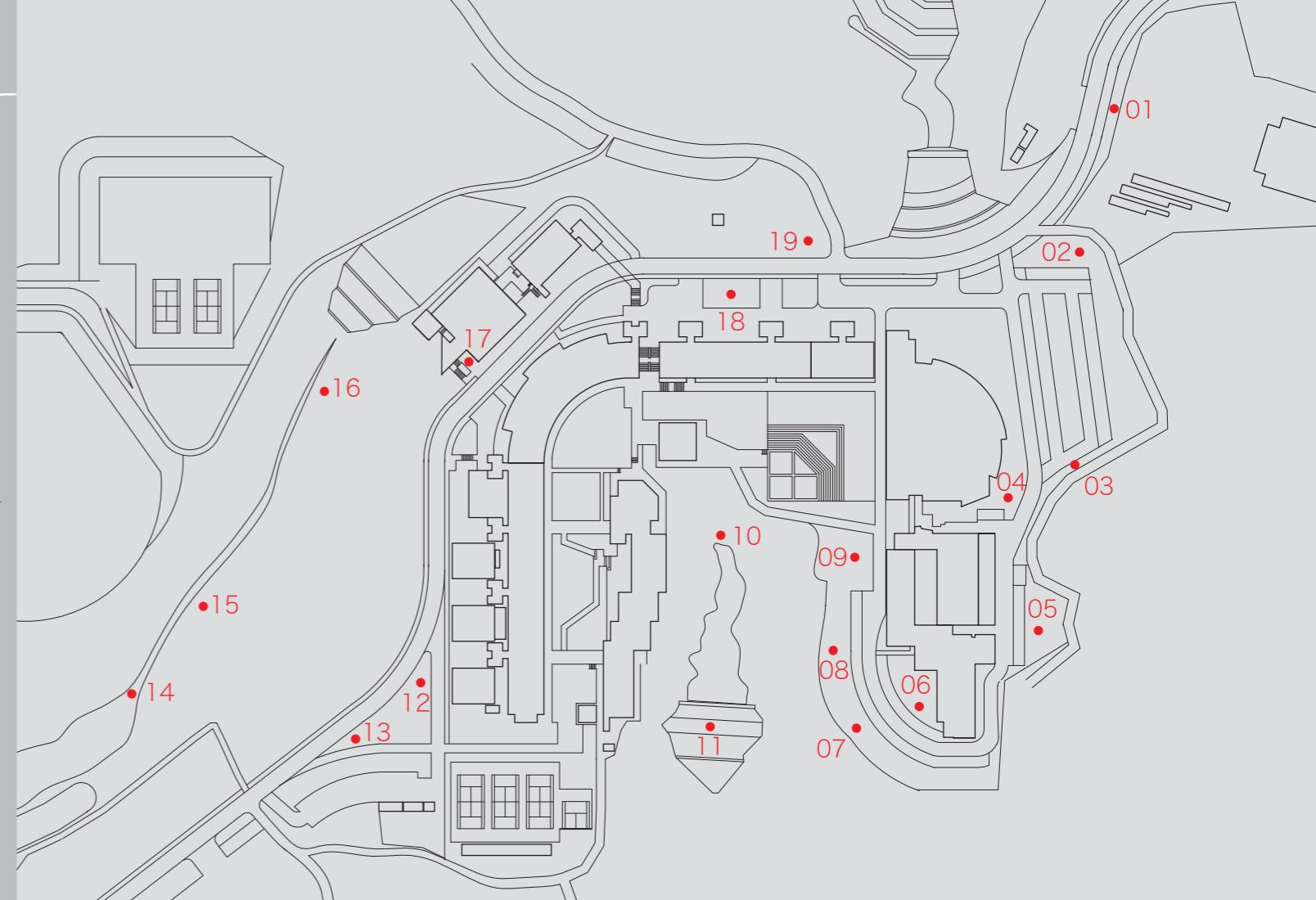
International Openair Expressions 2024・2025

サイトスペシフィックアートと地域創造  
Site Specific Art for Regional Creation

# 国際野外の表現展 2024・2025

International Openair Expressions 2024・2025

2023.11.26 - 2024.07.31 / 2024.12.01 - 2025.07.31



2024

東京電機大学鳩山キャンパス TDU HATOYAMA Campus

02\_澤田石貴子  
05\_衛守和佳子  
06\_児玉士洋  
09\_東京電機大学岩城研究室  
11\_沼田直英  
12\_根木山和子  
13\_赤松 功  
14\_岩城和哉  
15\_木村勝明  
16\_李 宣周 (イ・ソンジュ)  
17\_秋山秀馬

高澤記念館

20\_岩城和哉  
21\_金田菜摘子  
22\_小野寺優元

SHUMA STUDIO

23\_加茂孝子  
24\_ソウマヒカリ

ギャラリー亞露麻

27\_赤松 功

2024

東京電機大学鳩山キャンパス TDU HATOYAMA Campus

02\_SAWATAISHI Tacaco  
05\_EMORI Wakako  
06\_KODAMA Shiyo  
09\_TDU IWAKI Lab.  
11\_NUMATA Chokuei  
12\_NEGIYAMA Kazuko  
13\_AKAMATSU Isao  
14\_IWAKI Kazuya  
15\_KIMURA Katsuaki  
16\_LEE Sun-ju  
17\_AKIYAMA Shuma

TAKAZAWA House

20\_IWAKI Kazuya  
21\_KANETA Natsuko  
22\_ONODERA Yuguen

SHUMA STUDIO

23\_KAMO Takako  
24\_SOUMA Hikari

Gallery AROMA

27\_AKAMATSU Isao

2025

東京電機大学鳩山キャンパス TDU HATOYAMA Campus

01\_赤松 功  
03\_赤松 功  
04\_ウィルフレド・ゴンザレス  
05\_Gudrun WESTERLUND  
07\_LEE Sun-ju  
08\_WATANABE Kazuhiro  
10\_AKIYAMA Shuma  
11\_NUMATA Chokuei  
12\_NEGIYAMA Kazuko  
14\_IWAKI Kazuya  
17\_SAWATAISHI Tacaco  
18\_TDU IWAKI Lab.  
19\_KODAMA Shiyo

高澤記念館

20\_岩城和哉  
21\_金田菜摘子  
22\_小野寺優元

SHUMA STUDIO

23\_加茂孝子  
24\_ソウマヒカリ  
25\_Helga CMEHLKA  
26\_広瀬ゆか

ギャラリー亞露麻

28\_根木山和子

2025

東京電機大学鳩山キャンパス TDU HATOYAMA Campus

01\_AKAMATSU Isao  
03\_AKAMATSU Isao  
04\_Wilfrido GONZALES  
05\_Gudrun WESTERLUND  
07\_LEE Sun-ju  
08\_WATANABE Kazuhiro  
10\_AKIYAMA Shuma  
11\_NUMATA Chokuei  
12\_NEGIYAMA Kazuko  
14\_IWAKI Kazuya  
17\_SAWATAISHI Tacaco  
18\_TDU IWAKI Lab.  
19\_KODAMA Shiyo

TAKAZAWA House

20\_IWAKI Kazuya  
21\_KANETA Natsuko  
22\_ONODERA Yuguen

SHUMA STUDIO

23\_KAMO Takako  
24\_SOUMA Hikari  
25\_Helga CMEHLKA  
26\_HIROSE Yuka

Gallery AROMA

28\_NEGIYAMA Kazuko



秋山秀馬  
AKIYAMA Syuma  
《Crack Circle》2024

私は河川敷で玉石を落として割る原始的な行為を行ってきた。私はその瞬間自然と同化した。



秋山秀馬  
AKIYAMA Shuma  
《北極星》2025

古代、または太古の時代から人は天体、北極星を方位、祈り、信仰等の生活の指針としてきた。



赤松功  
AKAMATSU Isao

《痕跡一枝が伸びる》  
2024  
群がる生きものたちが喫煙コーナーを占  
拠。(上)



《痕跡一枝が伸びる》  
2024  
群がる生きものたち。わー帰れない！！  
(左上)



《痕跡一枝が伸びる 生きものたちの昆虫  
合唱が始まる》  
2025  
巣箱のハチたちも参加、昆虫合唱です。  
耳を澄まして聞いて下さい。(左中)

《痕跡一枝が伸びる トタン塀から枝  
が、、、これも異常気象か。》  
2025  
トタン塀から枝が伸びてきました。異常  
気象がここにも、、。(左下)



イソンジュ  
LEE Sunju  
《Memory of the festival・祭》  
2024  
日本に住んでいたとき、私の母は  
韓国に住んでいて、いつも私を思  
い浮かべた。母は縫物で何かを作  
り始めた。



イ・ソンジュ  
LEE Sunju  
《Newdream 新しい夢》  
2025  
私のnic nameは青い鳥です。  
夢を持って空を飛びたい。年をとっ  
ても子供みたいに夢はいつも生き  
てます。



岩城和哉  
IWAKI Kazuya  
《風のかたりべ》  
2024



岩城和哉  
IWAKI Kazuya  
《触媒 Catalyst》  
2025  
場所を作品に見立て、その特性を  
増幅する触媒を布置する。



ウィルフレド・ゴンザレス  
Wilfrido GONZALES  
《指揮者のように》  
2025  
どのような指揮者を私たちは  
望むべきなのか。私たちの夢  
や才能はどうなるのだろうか。



グドルン・ウェスターlund  
Gudrun WESTERLUND  
《A Space for Celebrations》  
2025  
Three paths lead up to the  
fragile shelter, where we  
can celebrate arrivals and  
departures.



児玉士洋  
KODAMA Shiyo  
《MEDITATION》  
2024  
地球は循環を維持し、バラン  
スを取っています。



児玉士洋  
KODAMA Shiyo  
《HANA》  
2025  
花の HANA の次世代に繋ぐも  
の。人は自然との間に何を残  
すのか…



澤田石貴子  
SAWATAISHI Tacaco  
《Count your blessings》  
2024  
誰かと誰か、何かと何かが、  
関わっている



澤田石貴子  
SAWATAISHI Tacaco  
《Count your blessings》  
2025  
交点を恩寵として受け取る



沼田直英  
NUMATA Chokuei  
《Genius-Loci (ゲニウス - 口  
キ) 結合 (コンビナトリア  
combinatoria) - 存在の一義  
性) 2024  
副題の結合は、一切の体系は  
構想の最初の具体化であり、  
分析と結合の一義性、運動変  
化を通じて展開の現実態を図  
りたい。

沼田直英  
NUMATA Chokuei  
《Genius-Loci (ゲニウス - 口  
キ)》存在の一義性「俯瞰一生  
命の飛躍」2025  
表現が表層へ浮上させる無底  
と多様性の関係の根拠を探る。



根木山和子  
NEGIYAMA Kazuko  
『風に聴く』  
2024

かすかに聴こえる縄文からの物語。  
小高い丘にたたずみ、歌声に耳を澄まし、  
空を仰ぎ生きる樹々たち



根木山和子  
NEGIYAMA Kazuko  
『風に乗って』  
2025

風に乗って、落ちてきた雲。  
木々たちと仲良し。

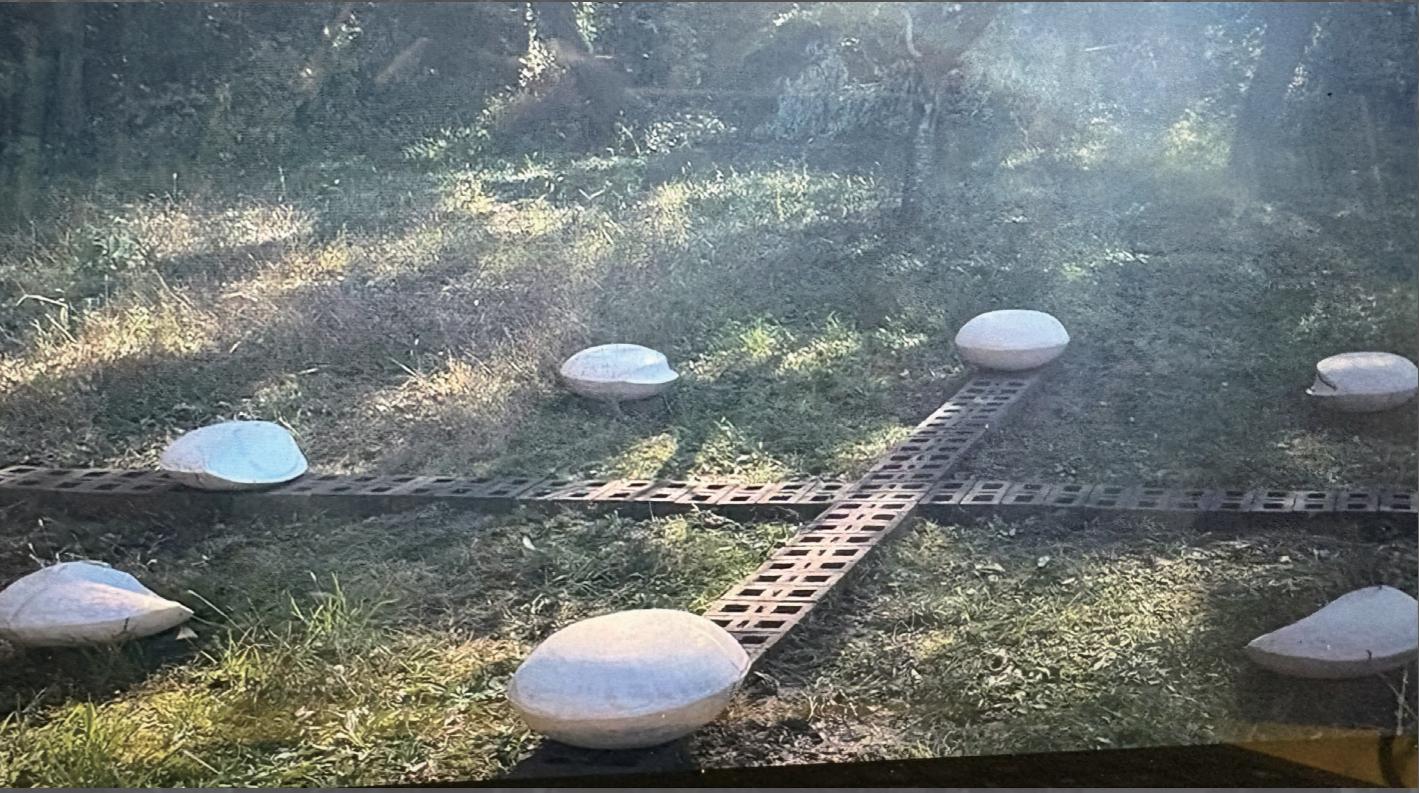


根木山和子  
NEGIYAMA Kazuko  
『優しい光』  
2025

同じスタイルで編んだものを  
何枚か重ねてみました。



渡辺一宏  
WATANABE Kazuhiro  
『球・相』  
2025  
球体のヴァリエーションの一形態  
として、有機的なフォルムを試み  
てみた。



衛守和佳子  
EMORI Wakako  
『Moonlite Night～つきのある夜～』 2023-24  
風の流れる空間には時間を刻む月の形あり。月の魅力と神秘性を大地の土で創る。上から見ている私たちを笑う月たち。



新井海斗 岸ちひろ 柳澤貴太 鈴木健太郎 / 東京電機大学

ARAI Kaito, KISHI Chihiro, YANAGISAWA Kanta and SUZUKI Kentaro / TDU

《Uni-tento》2024

本作品は『直線が作る曲面』というコンセプトで、10 ユニットの同じ双曲面で構成される。包み込まれる  
ような居心地のいい空間であると同時に、自然に対しては開放的という両立を目指した。

制作協力：小平和仙 中根克海 佐藤璃騎 國府田悠稀



菊地海渡／東京電機大学

KIKUCHI Kaito / TDU

《仮設空間 Temporal》2025

簡単に分解と再構築が可能な多用途に応用できる仮設建築物

制作協力：鈴木真美 加藤晃弘 宮下央佑 渋木遼知 宮田紗和 松下久瑠美 野口宇婷 田代拓夢

白石光音 大久保駿



ヘルガ・クメルカ

Helga CMALKA

《庭の絵／秋》

2025



広瀬ゆか

HIROSE Yuka

《土偶の囁き》

2025

ドナウ川の畔でふるさとを想  
い耳を澄ませていると、土偶  
の囁きが水に流れていってく  
るかもしれない。

今から約 5000 年～ 4000 年  
前に最盛期を迎えた縄文時代  
中期の中心地のひとつであっ  
た山梨県。

そこから出土した土偶と水煙  
紋土器のデザインをもとに、  
友禅染の技法をつかって制作  
しました。



加茂孝子  
KAMO Takako  
《天空と地上をつなぐ者》  
2024  
和紙の衣装



ソウマヒカリ  
SOUMA Hikari  
《銀河563》  
2024  
私たちの場所からこの銀河までは 563光年の距離があり そしてこの銀河は徐々に拡大してゆきます。



加茂孝子  
KAMO Takako  
《和紙の衣装》  
2025  
心をつつむ、体をつつむ、和紙  
の衣装。優しく、しなやかに、  
力強く呼び起こせ、内なる体の  
鼓動を！



ソウマヒカリ  
SOUMA Hikari  
《WAKUSEI》  
2025  
地球にちらばる様々な使われなくなった糸を束ねて  
星の名前をつけました  
月代わりで作品を入れ替えて展示いたします



金田菜摘子  
KANETA Natsuko  
『回遊2023』  
2024  
成長し、世界をめぐるいきもの達



金田菜摘子  
KANETA Natsuko  
《回遊2024》  
2025  
新たな環境に向かい合ういきもの達



小野寺優元  
ONODERA Yuguen  
《地下水脈》  
2025  
この地域で生きる人々の命は  
荒川に守られている。



息信(シシン)  
SHISHIN  
『士兵!武器を取れ』  
2024



木村勝明

KIMURA Katsuaki

《木と休む人》

2024

自然の中で休む人は幸いである。

大木に寄りかかる影のようなもの、実態は無いが、

その影のような存在が、旅人の中である。

永遠の癒しをそこに感じたい。

# 『場の固有性』

国際野外の表現展  
オーガナイザー 小野寺優元

ある社会が発展途上にあるとき、その社会ではエネルギーが増大しつつあるので、外来の価値を積極的に取り入れ、新たな価値として生み出すことができます。しかし、その社会が衰退期に差しかかっているときは、その地域内の「場の固有性」を見極め、その地に密着した現実的な価値を顕在化するよう思考の転換をはかることが、その社会の持続性にとって重要なことになるでしょう。

このような衰退期にいつまでも外来の価値に拘泥していると、社会のエネルギーが減少するなか、現実的で有効な価値を生むことができません。また、発展途上期に地域固有の価値にこだわることは、保守的な姿勢を内在させることになり、社会の発展が輝きを失ってしまいます。

それぞれの地域社会および場には固有の物質が備わっており、その場で暮らす人々に必然的な影響を及ぼしていますが、そこで生まれ育った人にとっては、それらが日常であるため、価値として認識できにくいのです。さらに、その地域の風土は、人々の美意識の形成にも大きな役割を果たしています。もちろん後天的に受け入れられた個別の経験や教育が、思想や美意識に影響を及ぼしていくことは当然ですが、あまり実証主義的で経済優先の社会に生きる現代人は、自然を美しいと感じ、自然を神ともみなす日本人特有の美意識を忘れかけているように思われます。

「景觀十年、風景百年、風土千年」という言葉があります。場の表層のあらわれである景觀が、人々の暮らしの影響を与え、風景となってその地域固有の思想や美意識を創り出していくには、100年かかるということでしょう。渋谷区代々木の明治神宮の森は、100年前、全国各地から寄進された各種の献木が植えられ、今では鬱蒼とした美しい森となり、多様な価値が内蔵された風景となりました。この森に生きる木、草、虫、鳥が何代にもわたって命をつなぎ、この場所の固有性が、それらの遺伝子にも影響されるほど長い時を経たとき、風景はその場に包含された人々の観察として形成され風土とみなされるのです。

国際野外の表現展が開催される東京電機大学鳩山キャンパスは、埼玉県比企丘陵の一角にあり、なだらかな丘としなやかな谷が連なる地形で、その谷の上流には必ず小さな池があります。この池は、河川の治水がまだ進んでいなかった頃、台風による暴風や洪水の被害を免れ、安定的に田に水を供し米を収穫するために設けられた人工の溜池なのです。治水工事が進んだ現在、米は平野部の田んぼで作られていますが、中世の稻作はこの「谷地田」という谷合の田んぼが主流であり、発祥は古墳時代といわれ、千数百年の歴史があります。この溜池農法は日本農業遺産に認定され、現在世界農業遺産への登録を目指しています。この溜池のある里山風景は、この地域の自然を受け入れ、自然を畏れ、自然に委ねるという思想の原点になっています。

現代人にとって豊かな人生とは、安定した社会にあって、その地域固有の風景に基づいた美意識を心に抱き、自己実現に向けて人生を創造していくことなのかもしれません。縄文時代の「遮光器土偶」の大きな目を細めた奇妙な顔を見る時、縄文人は目に映るものだけで本質を判断してはならず、宇宙の真理は視覚ではたどりつけないものだということを知っていたかのように思われます。

(おのでらゆうげん)

## 国際野外の表現展2024・2025

協賛 ご支援とご協力 ありがとうございました

野沢悦男 山下茂 草野律子 小川修 医療法人瀬川病院 笠間益伸 津田薰 西畠美穂子 東條隆郎  
横田哲身 平松朝彦 滝澤布沙 山岸隆 川合善明 小林正雄 合田宏之 箕輪高一郎 渡辺和恵  
高松潤一郎 横溝高至 加島克美 岡田敏雄 (株)新穂石材 (敬称略)

助成 東京造形大学校友会

## 国際野外の表現展実行委員会 2024-2025

委員長 木村勝明  
副委員長 市野学 土井幸平  
事務局長 小野寺優元(オーガナイザー)  
副事務局長 岩城和哉 寺島悦恩 草野律子 児玉士洋 三上紀子  
会計 望月月玲  
事務局委員 菱田祐一郎 李宣周 三木祥子 高島明子 滝澤布沙 金子清美 秋山秀馬 小野寺万起  
事務局協力 大野馨 東京造形大学卒業生有志  
実行委員 加島克美 野口政子 野口幸子 伊豆井秀一 江野幸一 加藤久恵 尹東植 矢口博之 柴山拓郎  
笠間益伸 藤繩雅啓 小川修 市川紀文 馬橋和雄 矢部薰 塩野輝之 山田勲 新埜好一  
横溝高至 山岸隆 渡辺和恵  
会計監査 野口明

## アートサポート募集

このイベントは皆様の支援によって運営されます。ご支援いただける方はお名前、ご住所、お電話番号をご連絡の上、下記口座に支援金をお振込みください(1口1万円)。後日カタログをお送りいたします。また小品展でのお買い上げの際に20%割引いたします。

三井住友銀行坂戸支店 (普)4171500

国際野外の表現展実行委員会事務局長 オノデラユウゲン

## 《国際野外の表現展2024・2025 サイトスペシフィックアートと地域創造》

発行 2025年12月31日 初版第1刷発行

発行編集人 小野寺優元

発行所 国際野外の表現展実行委員会

355-0051 埼玉県東松山市白山台15-19

TEL 0493-35-4506

e-mail mail@ioe-hiki.com

URL <http://www.ioe-hiki.hiki/>

編集 岩城和哉

350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂

東京電機大学理工学部 建築・都市環境学系